

一宮研伸大学紀要投稿規程

(目的)

第1条 この規程は、一宮研伸大学（以下「本学」という。）における教員等の研究・研究成果を配信し、看護学・教育学の学術的発展に寄与することを目的とする。

(投稿者の資格)

第2条 投稿者の資格は、次の各号に定める者とする。

- 一 本学の専任教員及び助手。
- 二 本学学部生、本学大学院生、本学卒業生、本学大学院修了生。
- 三 その他、論集編集委員会（以下「委員会」という。）が適当と認めた者。
ただし、共著者はこの限りではない。

(投稿論文の種類)

第3条 投稿論文の種類は、総説、原著、研究報告、実践報告、資料であり、それぞれの内容は、次のとおりとする。

- 一 総説
取り上げたテーマについて、内外の諸研究を幅広く概観し、現在までの動向や進歩を示し、新たな概念や今後の展望を提示するもの。
- 二 原著
妥当かつ独創的なリサーチクエスチョンを、科学的手法に基づいて探求・検証し、研究論文として形式が整っているもの。
- 三 研究報告
研究結果の意義があり、研究論文として形式が整っているもの。
- 四 実践報告
教育・看護等に関する実践報告で、公表の意義があると認められるもの。学習者等対象者から得たデータ等は記載せず、実践者の振り返りに基づいて記述する。
- 五 資料
上記の分類に該当しない貴重な記録、研修・委員会報告等で、委員会が適当と認めたもの。

(研究倫理)

第4条 投稿論文等には適切な倫理的配慮がなされなければならない。

- 2 倫理的配慮は、本学研究等における人権擁護・倫理委員会規程第2条第1項の各号に準拠しなければならない。
- 3 利益相反は、論文内に「利益相反」の欄を設けて明示しなければならない。
- 4 研究不正（二重投稿・多重投稿、捏造、改ざん、盗用等）の疑念が生じた場合は、事実関係を確認し論文の受け付けないと判断することがある。

(執筆要項)

第5条 原稿の執筆要項は、別に定める。

(投稿論文の提出)

第6条 原本は、W o r d ファイルを1部、電子投稿システムから提出する。

2 投稿論文は、執筆要項に示すフォーマットを使用し作成する。

3 査読者用として、投稿者を特定できる情報を伏字にした論文を2部複写し、期日までに指定した場所に提出する。

(投稿論文の採否)

第7条 投稿論文の採否は、査読者を経て委員会が決定する。なお、投稿論文の修正及び種類の変更を求めることがある。

(著者校正)

第8条 著者校正は1回とする。校正時の大幅な加筆・修正は、原則として認めない。

(掲載)

第9条 紀要への掲載順序は、原則として種類別、最終原稿の提出順とする。

(著作権等)

第10条 著作権は、本学に帰属する。

2 著作者が自分の論文を利用する場合には、委員会の許諾を必要としない。

3 投稿に際して、当該論文の著作権及び電子情報化等の二次的使用に関する権利が本学に帰属することを、著作者全員が同意しているものとみなす。投稿者は、この点について共著者全員に承諾を得た上で投稿するものとする。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、教授会及び研究科教授会の議を経て、学長がこれを行う。

附 則

この規程は、令和3年7月21日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年7月20日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年6月21日から施行する。